

約7割のドライバーが交通安全対策の効果を実感

～国道13号、交通安全対策の効果検証実施～

国土交通省湯沢河川国道事務所では、安全安心な道路環境を実現するために「事故ゼロプラン」（事故危険区間重点解消作戦）に取り組んでおります。この取り組みでは、事故データや皆さんの意見を基に「事故危険区間」を選定し、重点的に対策を進めています。

この度、平成24年度に実施した交通安全対策の効果検証を行いましたので、検証結果をお知らせします。

■交通安全対策の効果検証箇所

平成24年度に交通安全対策を実施した箇所のうち、代表的な以下の交差点を対象に対策の効果を検証しました。

1. 交差点改良（右折レーン設置等）実施箇所
・国道13号 だいせん しきょうわみねよしかわ 大仙市協和峰吉川地内（みねよしかわ 峰吉川交差点）
2. 注意喚起・速度抑制対策実施箇所
・国道13号 ゆざわしせんごくちよう 湯沢市千石町一丁目（せんごくちよう 千石町交差点）
・国道13号 よこてしきゅうけおおづみ なかた なかた 横手市婦気大堤字中田（なかた 中田交差点）
・国道13号 みさとちようろくごう こぶき こしおうざわいづめ 美郷町六郷字小婦気（こしおうざわいづめ 市道古四王際飯詰線交差点）
・国道13号 だいせんしかりわの きたのさわしまやま にしせんぼく 大仙市刈和野字北ノ沢嶋山（にしせんぼく 西仙北高校入口交差点）

■対策効果の概要

1. 交差点改良（右折レーン設置等）実施箇所（峰吉川交差点）
 - 交通安全対策による効果について沿線の地域住民へヒアリング調査を行った結果、対策の実施によって安全性の向上を実感していることを確認できました。
2. 注意喚起・速度抑制対策実施箇所
 - 対策後に事故が減少しました。
 - 規制速度を超過している危険な車両が減少しました。
 - 道路利用者が対策の効果を実感していることを確認できました。

<記者発表先>

秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局、大曲支局、秋田建設工業新聞社建設新聞社秋田支局、秋田県南日々新聞、秋田民報

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
TEL 0183-73-5350(道路管理課直通)
道路管理課長 鈴木 恵吉(内線431)

湯沢河川国道事務所管内における交通安全対策(平成24年度実施)の効果検証結果

1. 交差点改良(右折レーン設置等)

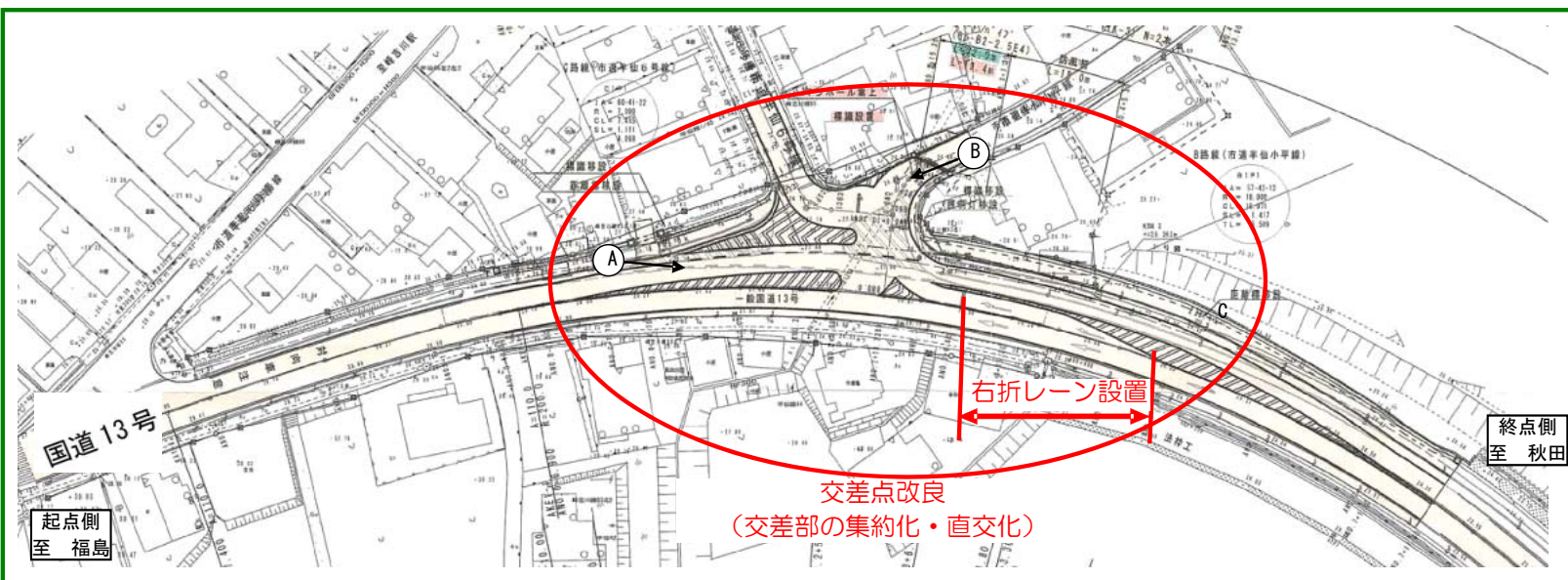
○交通安全対策の実施内容①

- 国道13号大仙市協和峰吉川地内の峰吉川交差点において、カーブ区間かつ右折レーン未設置のため正面衝突や右折待ち車両への追突事故が発生しており、地域の皆さんからも安全性向上に関する要望をいただいております。
- 右折レーンの設置、交差点改良、視線誘導標の整備により事故の低減を図りました。(平成24年12月完成)

<効果検証箇所>



<対策の内容>



H17~H20の4年間で3件の事故が発生
うち2件は死亡事故

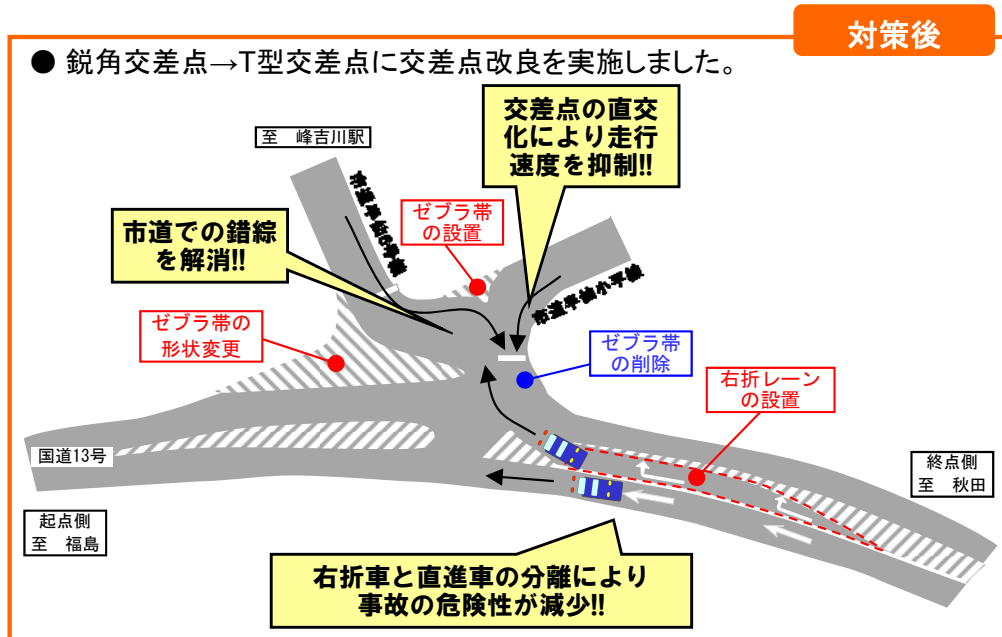
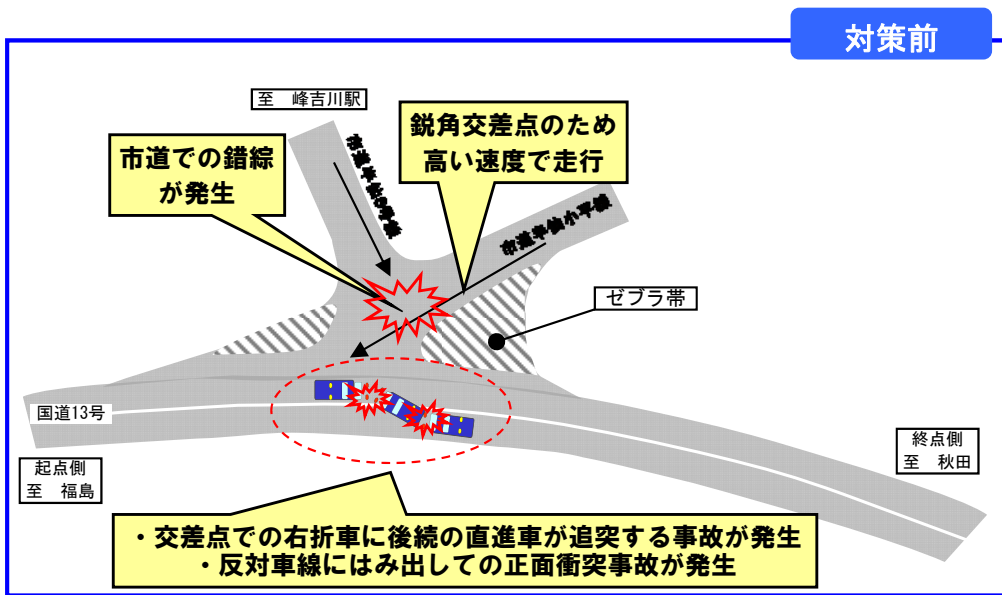
↓

H25.1~H26.2まで事故は発生していない

湯沢河川国道事務所管内における交通安全対策(平成24年度実施)の効果検証結果

○交通安全対策の実施内容②

＜対策前後での交差点の走行状況の変化＞



○交通安全対策の効果検証結果

交通安全対策による効果について沿線の地域住民へヒアリング調査を行った結果、対策の実施によって安全性の向上を実感していることを確認できました。

沿線の地域住民の声

○右折レーン設置によって追突事故、正面衝突の危険性が低減

- ・整備前はカーブ区間の見通しが悪く、右折待ちの車両に後続直進車が追突する重大事故が発生していたが、整備後は右折レーン設置により見通しも良くなり事故の危険性が減少した。
- ・整備前は右折待ちの車両が反対車線にはみ出す場合があり、正面衝突の危険性があったが、整備後は正面衝突の危険性が減少した。
(半仙自治会会長)

○交差点改良によって安全性が向上

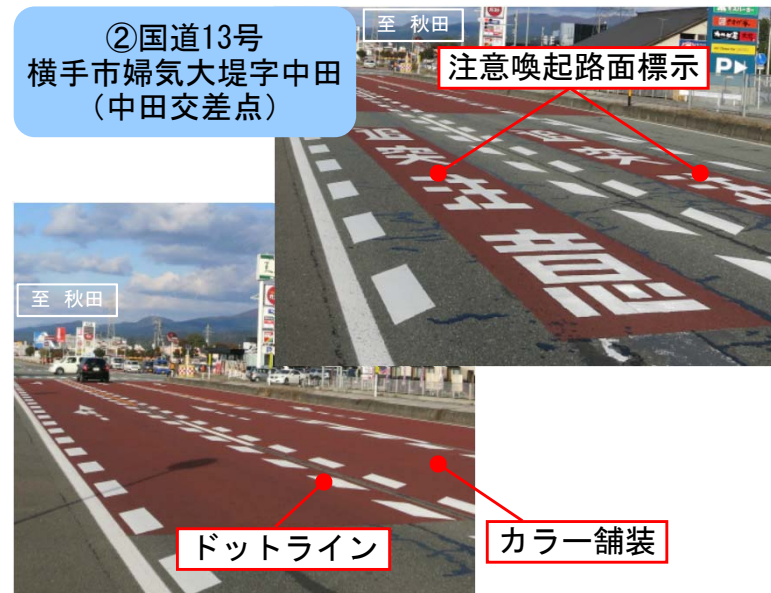
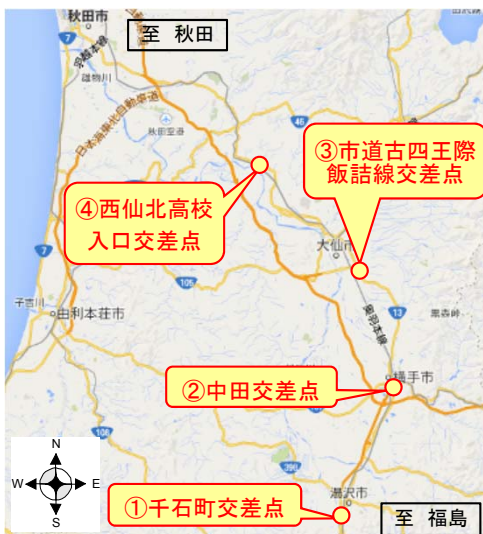
- ・整備前は鋭角交差点のため、市道から国道へ合流しにくかったが、交差点改良により見通しが良くなり合流しやすくなった。
- ・整備後は国道から市道へ左折する際、速度を落とさなければ左折できないよう改良されたことで安全性が増した。
- ・交差点改良により、市道から国道へ合流する際、勾配が緩やかになったことでスリップ、スタックの危険性が減少した。
(半仙自治会会長)

2. 注意喚起・速度抑制対策

○交通安全対策の実施内容

- 湯沢河川国道事務所では、多発する追突事故に対する道路利用者への注意喚起・速度抑制対策として、「交差点流入部のカラー舗装」「減速路面標示(ドットライン)」「注意喚起路面標示(追突注意)」を行っています。
- 平成24年度に対策を実施(平成25年3月完成)した箇所のうち、代表的な以下の4交差点を対象に対策の効果を検証しました。

<効果検証箇所>



③国道13号 美郷町六郷字小婦気 (市道古四王際飯詰線交差点)



④国道13号 大仙市刈和野字北ノ沢嶋山 (西仙北高校入口交差点)



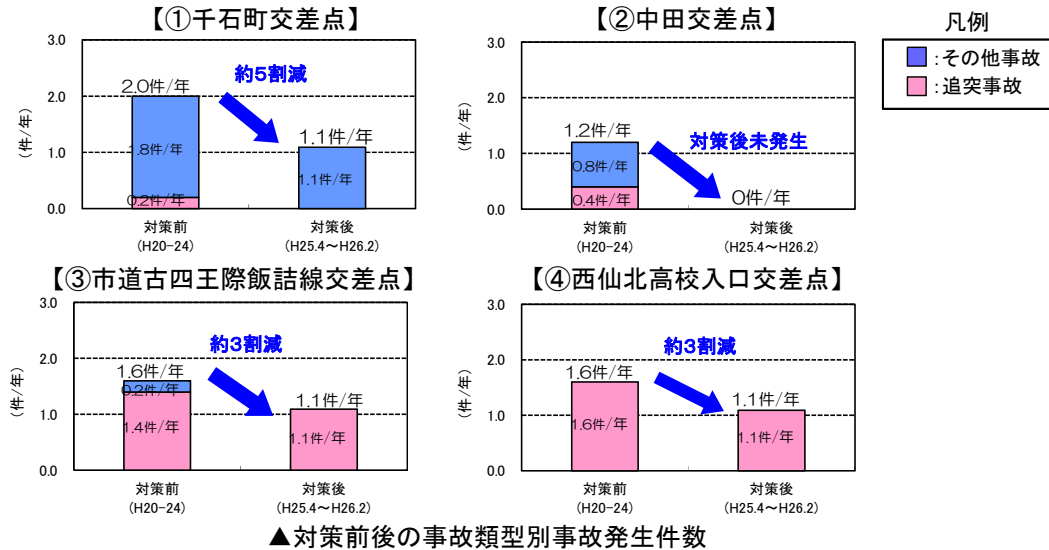
湯沢河川国道事務所管内における交通安全対策(平成24年度実施)の効果検証結果

○交通安全対策の効果検証結果

- 効果検証対象箇所について、対策前後の「事故件数」や「走行車両の挙動」、アンケート調査による「道路利用者の実感」に着目し、効果検証を実施しました。
- 検証の結果、各箇所ともに対策後に事故の減少が確認されました。
- 事故につながる危険な車の挙動が減少するとともに、道路利用者も対策の効果を実感しています。

「事故件数」による効果評価

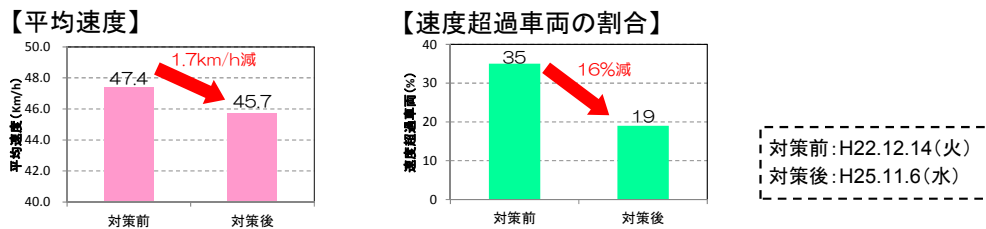
- 対策後、各箇所ともに事故件数(年平均)が減少しました。



「走行車両の挙動」による効果評価 (千石町交差点)

【千石町交差点における交差点進入時の速度の変化】

- 対策後は、事故につながるような規制速度を上回る速度超過車両が減少しました。(対策前から16%減)



「道路利用者の実感」による効果評価 (アンケート調査結果)

- 各箇所ともに、約6~7割の方が対策に対して満足していると回答しています。
- 安全意識の変化は、どの対策においても約9割の方に効果が見られました。
- 有効性については、特にカラー舗装の対策が最も高い効果となりました。

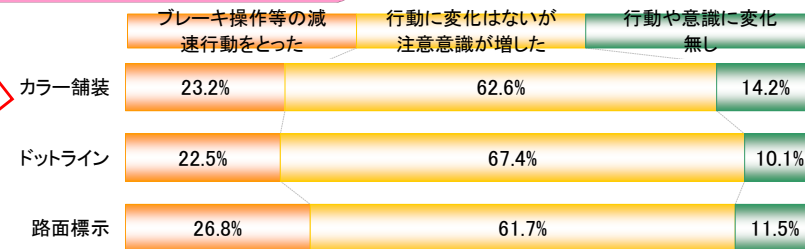
対象交差点で実施された交通安全対策の満足度は。。。

各箇所ともに、約6~7割の方が満足していると回答。



交通安全対策による安全意識の変化は。。。

約9割の方が「減速行動をとった」「注意意識が増した」と回答。



交通安全対策の有効性は。。。

カラー舗装を有効と答えた方の比率が最も多い。



▲道路利用者へのアンケート調査結果 (平成26年1月実施)